

平成 30 年度 学校評価学校関係者評価書

熊谷市立太田小学校

1 学校教育目標

生きる力をはぐくむ教育の推進—知・徳・体のバランスのとれた豊かな人間性を身に付けた児童の育成—

- 思いやりのある子 (徳)
- 進んで学ぶ子 (知)
- たくましい子 (体)

2 自己評価結果【A；十分に達成(9割以上) B；達成(8割以上) C；あと一歩(6割以上) D；努力(6割未満)】

分 野	評 価 項 目		達 成 状 況 (%)			
			A	B	C	D
1 思いやりのある子	1	児童理解に徹し、よさと可能性を伸ばす。	38.5	61.5		
	2	温かさと新鮮味のある学習環境を創る。	61.5	38.5		
	3	授業時に心のバロメーターと振り返りカードを活用する。	38.5	61.5		
	4	実践の場としての縦割り活動で交流を推進する。	92.3	7.7		
	5	道徳掲示板と道徳コーナーを設置するとともに、道徳便りを発行する。	84.6	15.4		
	6	無言ひざつき清掃ができる (100%)。	53.8	38.5	7.7	
	7	組織的な生徒指導を展開する。	92.3	7.7		
	8	くつそろえができる (100%)。	69.2	30.8		
	9	廊下を静かに右側を歩く (100%)。		92.3	7.7	
	10	立ち止まっでの「あいさつ」ができる。(登校時、給食運搬時、来客時100%)。	76.9	23.1		
	11	無言集団教室移動ができる (100%)。	15.4	76.9	7.7	
	12	教育相談の充実を図り、児童の心の理解に努める。	84.6	15.4		
	13	全教育活動を通して、命の大切さを学び、思いやりのある心、いじめや差別を許さない心を育てる。	76.9	23.1		
2 進んで学ぶ子	14	学習内容が明確な授業を行う。	84.6	15.4		
	15	児童にわかりやすい板書を工夫・改善する。	84.6	15.4		
	16	ノート指導を徹底する。	69.2	30.8		
	17	漢字検定・計算検定100点を100%達成する。	69.2	30.8		
	18	読書活動の推進を図る(低学年100冊以上、高学年10,000ページ以上)。	61.5	30.8	7.7	
	19	熊谷ラグビー・オリパラプロジェクトを推進する。	46.2	53.8		
	20	わかる授業、達成感・満足感のある授業を実施する。	46.2	53.8		
	21	人の話を目と耳と心で聴くことができる (100%)。	30.8	69.2		
	22	大きな声で、返事・発言ができる (100%)。	38.5	61.5		
	23	よい姿勢(グー・ペタ・ピン)の徹底を図る (100%)。	23.1	76.9		
	24	家庭学習の定着を図る (90%以上)。	61.5	38.5		
3 たくましい子	25	運動量を増やし、汗をかかせる体育授業を創造し、運動を好きな児童100%にする。	30.8	69.2		
	26	新体力テスト達成率85%以上とする。	84.6	15.4		
	27	望ましい食習慣の育成と食育指導の充実を図る(栄養教諭による食育指導の実施)。	100			
	28	正しい歯磨きの励行を図る(全国小学校歯みがき大会参加)。	92.3	7.7		
	29	校内施設等の日常点検、定期点検と早期修繕の充実を図る。	92.3	7.7		
	30	通学路の安全点検と、登下校の安全確保を徹底する。	92.3	7.7		
	31	自分の身は自分で守る防災教育の推進を図る。	46.2	53.8		
4 その他	32	熊谷市の「4つの実践」「3減運動」の推進を図る。	53.8	46.2		
	33	課題研究(算数)での達成感を得る。	92.3	7.7		

① 思いやりのある子

【成果】 ・縦割り活動で、高学年がよく下級生の世話をし、リーダーとしてお手本になろうという気持ちが育ってきた。

・生徒指導委員会や職員会議で、共通理解と共通行動を図り、全職員一丸となって取り組んできた。

【課題】 ・廊下歩行や無言集団移動に課題がある。

【対策】 ・継続的な繰り返し指導が大切である。

【学校関係者コメント】

・先生方が児童をよく理解し、体制を整えて取り組んでいることがよくわかった。継続して取り組んでほしい。

② 進んで学ぶ子

【成果】 ・1時間1時間の学習内容を明確にし、わかりやすい板書を工夫してきた。

・ノート指導の統一化を図り、板書の写し方やまとめ方の工夫ができた。

・漢字検定と計算検定で、100点を100%達成できるようになってきた。

【課題】 ・よい姿勢（ゲー・ペタ・ピン）や人の話の聴き方に課題がある。

【対策】 ・校内一斉指導や学級指導、日々の授業の中で、繰り返し指導していくことが大切である。

【学校関係者コメント】

・本日の授業参観で児童が、「漢字で100点を取りたい。」と発表していた。児童一人一人が目標を持って取り組んでいることが大切だと感じた。これが、将来の児童一人一人の目標につながると思う。

③ たくましい子

【成果】 ・栄養教諭による食育指導の実施や全国小学校歯みがき大会に参加することができた。

・校内施設等の点検と修繕を迅速に行い、通学路の安全点検や登下校の安全確保をすることができた。

【課題】 ・運動量を増やし、汗をかかせる体育授業を創造することに課題がある。

【対策】 ・単元の特性を生かしながら、1時間の体育授業の構想を立て、授業に望むようにしたい。

【学校関係者コメント】

・埼玉県教育委員会から体力向上優良校として表彰されたと聞いた。普段の取組が成果として出たので、とても喜ばしいことである。本日の授業参観でも、楽しみながら体を動かしている様子を伺えて、体力が付いている喜びにもつながっていると思う。

④ その他

【成果】 ・来年度の熊谷市教育委員会の委嘱発表会に向けて、職員研修や授業研究で、共通理解と共通行動を明確にし、全職員一丸となって取り組むことができた。

・熊谷市の「4つの実践・3減運動」を学校便りや学年便りで毎月周知するとともに、スマホの利用のしかたについては保護者対象にした講演会を開催できた。

【課題】 ・熊谷市の「4つの実践・3減運動」では成果を上げつつあるが、「3減運動」に課題がある。

【対策】 ・家庭との連携を図ることが大切である。

【学校関係者コメント】

・「4つの実践・3減運動」は、学校と家庭の連携が大切である。これからも保護者と手を取り合って頑張ってもらいたい。